

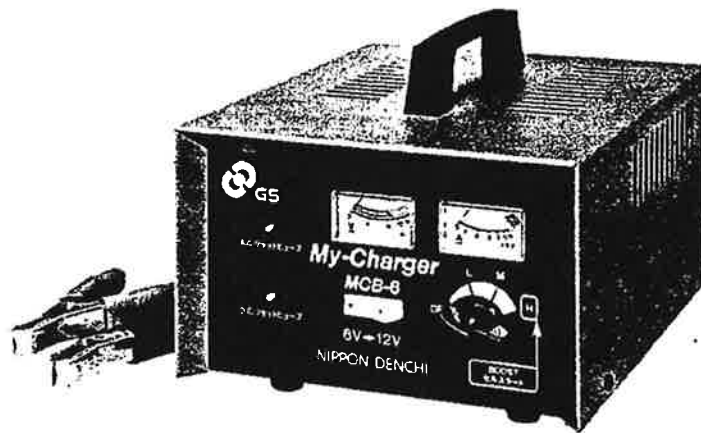


6V/12V 自動車用開放型バッテリー専用充電器

GSマイチャージャー

MCB-6

取扱説明書（保証書付）

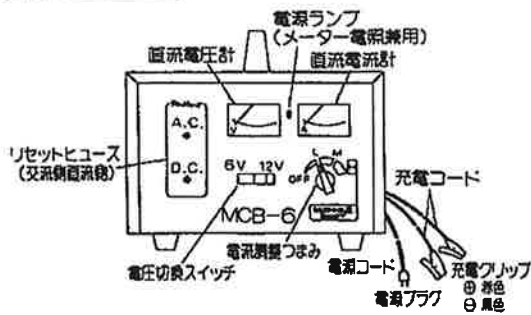


このたびはGSマイチャージャーをお買上げいただき、まことにありがとうございます。
います。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全に正しくご使用いただくために」
をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

なお、この取扱説明書には保証書がついていますので、お読みになった後も大切に
保管し、ご活用ください。

各部の名称とはたらき



直流電圧計：開路時および充電時のバッテリー端子電圧を指示します。

直流電流計：充電電流を指示します。

電源ランプ：電源プラグを入れると点灯します。

電流調整：1.「OFF」の位置で充電電流を切ります。

つまみ 2.電流を「L」「M」「H」に調整します。

3.「H」の位置で充電しながらエンジン始動ができます。

リセットヒューズ：異常のある時はとび出し、回路を保護します。

一ズボタン

定格と仕様

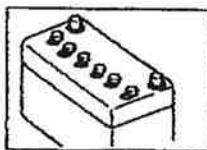
項目	内容	
型名 通産省型式認可番号	MCB-6 ▽91-47631	
入力	交流 単相	100V 50/60Hz 120VA (1.2A)
出力	直流 〔バッテリー負荷〕	6V/12V 5.0A (最大6A) L, M, H (弱, 中, 強) 3段階切換 エンジンスタート (補助時最大15A)
適合バッテリー (Ah)	二輪用 6V (10時間率) 2~22 12V 5~32 四輪用 12V (5時間率) 21~56	6Vバッテリー 1~2個 12Vバッテリー 1個
保護装置	交流側 直流側	2A リセットヒューズ 10A リセットヒューズ
コード	電源コード 充電コード	1.8m 1.8m (⊕ ⊖)
寸法 (mm)	H121×W180×D235	
重量 (kg)	約4.0	
付属品	二輪車用バッテリーアダプター	

ご使用上の注意 (別冊の「安全に正しくご使用いただくために」も合わせてお読みください。)

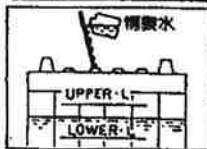
1. 雨水がかからず、火気のない通気の良い日かげでご使用ください。
2. 絶対にショートなどスパークをとばさないでください。(バッテリーの爆発の原因となります。)
3. クリップをバッテリー端子へ逆に接続したり、接触させたり絶対しないでください。もし誤まって接続した場合はリセットヒューズがとび回路を保護します。
4. バッテリー端子が腐食している場合は端子をよくみがいてからクリップを接続してください。
5. 充電器をバッテリーに接続する時や、取り外す時は必ず電源を切ってから行ってください。スパークによるバッテリー爆発の原因にもなります。
6. 充電中にバッテリーの液温が45℃以上に上昇したときは、充電を一時中止してください。
7. ご使用時には包装のビニールカバーをすべて取り去ってください。
8. ご使用中に異常が生じたときや、疑問については裏面のチェックリストでチェックした後、お求めの販売店に保証書を呈示のうえご相談ください。
9. エンジン始動補助としてご使用のときは⊖アース線ははずしませんからクリップが車体にふれないよう注意してください。

ご使用方法

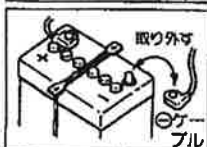
充電の場合



① バッテリー液口栓の取り外し
バッテリーの液口栓は全部取り外し、液口の上のせておいてください。
(安全液栓付バッテリーで液口栓を取り外せないものを除く。)



② 液面調整
電解液が規定液面まで入っているか確認してください。
減っている場合は精製水を入れてください。



③ 車上での充電
バッテリーを車上で充電する場合は車両側⊖ケーブルをバッテリー⊖端子から取り外してください。

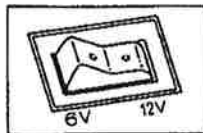
エンジン始動補助の場合

2輪車	ブースト (6V)	不 能
軽自動車 ・ 乗用車 12V	ブースト	可 能
	28Ah (5HR) 以下	
大・中・小 トラック バス	ブースト	不 能

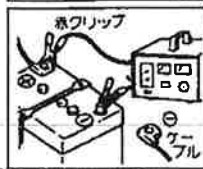
車両の吟味

予備充電を前提にした当充電器のエンジン始動補助にはおのずと限界があります。
エンジン始動補助 (ブースト) を行うときは当充電器のブースト可能領域でご使用ください。
○12V車両
○小型乗用車・軽自動車

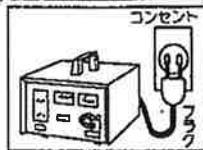
注) ブースト可能な車両であってもバッテリーの放電状態、電解液温度、車両状態等でブースト出来ないこともあります。
このときは再度予備充電を充分おこなってください。



④ 電圧切換スイッチの設定
バッテリー電圧に合わせスイッチを6V側か12V側に設定します。



⑤ 充電クリップの接続
充電クリップの極性に注意し、バッテリー端子に正しく、しっかり接続してください。
赤クリップ→バッテリー⊕端子
黒クリップ→バッテリー⊖端子



⑥ 電源を入れる
電源プラグをコンセント (AC100V) にしっかり差し込んでください。電源ランプ (パワーランプ) が点灯し充電が始まります。

電流調整

電流調整つまみを「L」「M」「H」いずれかに合わせてください。充電を開始します。この場合メーターの振れが規定の6Aを越えてはなりません。(L=弱、M=中、H=強)

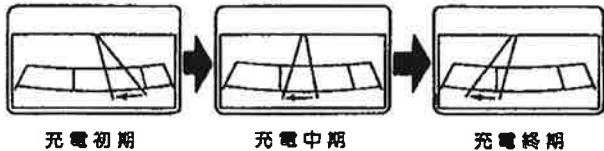
注) 過放電や故障したバッテリー (12Vバッテリー電圧が11V以下等のもの) などを充電すると規定の電流以上に流れることがあります。この場合充電器の保護のため、リセットヒューズがとびだし充電できないことがあります。

バッテリーに無理のないように二輪車用では「L」、軽自動車用26A19R (12N24) では「M」で、36B20R型以上の普通車用は「H」ではじめてください。

⑦ 充電完了付近の確認

通常充電の進行と共に直流電流の指針は下図の通り指示します。

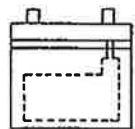
また、充電の完了は、直流電圧計が充電完了域を指示し、バッテリーからはげしくガスが出ている状態になることで判ります。(図参照)



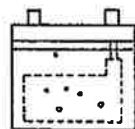
充電初期

充電中期

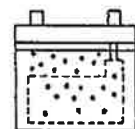
充電終期



ガスは出ない



ガスが出る



ガスがはげしく出る

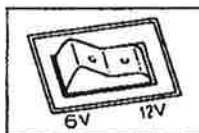
⑧ 充電時間 条件: バッテリー新品、放電50%、25℃
入力AC100V60Hz時の満充電まで (所要時間のめやす)

車 両	二 輪 車	軽 自 動 車	乗 用 車	小型トラック	中型トラック
バッテリー形式	GM10-3A-2	26A19R (12N24)	36B20R (NS40Z)	48D26R (N50)	65D26R (NS70)
充電時間(約)	2	4	5	8	9

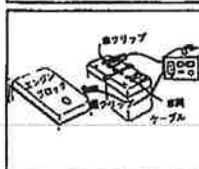
⑨ あとかたづけ

充電完了確認をしたあとは、前記使用方法の逆順序で行ってください。(⑤→①)

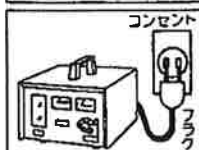
1. 電源プラグをコンセントより抜く
2. 充電クリップを取り外す。
3. バッテリーの液口栓、配線を元通り戻す。



② 電圧切換スイッチの設定
12V側に設定します。
(6Vのブーストは出来ません)



③ 充電クリップの接続
車両側ケーブルはバッテリーより外さず、
赤クリップ→バッテリー⊕端子
黒クリップ→エンジブロック
へ極性に注意し接続します。



④ 電源を入れる

左に同じ



⑤ 予備充電

車両側キースイッチをOFFにして5~10分予備充電をしてください。



⑥ エンジン始動

充電器を充電状態にしたまま車両側キースイッチをスタートにしてください。エンジンは始動します。始動出来ないときは再度予備充電より始めてください。(注1)



⑦ エンジン駆動での充電

エンジン始動が出来たからといってバッテリーの始動容量が十分回復したとはいえません。車両負荷を出来るだけ切ってオルタネータ (車載の発電機) でのバッテリー充電につとめてください。

⑧ あとかたづけ

1. エンジンを切らないで充電器の電源プラグをコンセントより抜いてください。
2. 充電クリップを取り外してください。

(注1) エンジン始動は3秒ON、7秒OFFを厳守してください。ブースト始動回数は、10回以内とします。

注) バッテリー温度が極度に高いか低いとき、バッテリーが劣化しているとき、入力電源がAC100±5V以外のとき、バッテリーが適合していない容量のとき等は図のとおりになりません。
(充電中に液栓より内部をあまりのぞかないでください。)

チェックリスト

状 態	原 因	処 置
電源ランプが点灯しない	電源がきていない	電源をたしかめプラグをしっかり差し込みます
	AC側リセットヒューズがとんでいる	異常をなおし、入れ（押し）ます
電源ランプは点灯するが充電できない (エンジン始動がうまくいかない)	DC側リセットヒューズがとんでいる	異常をなおし、入れ（押し）ます
	電流調整つまみの設定まちがい	「H」の位置でエンジン始動します
	バッテリーの過放電	しばらく充電してからエンジン始動します
	大型バッテリー (65D26R以上)	エンジン始動は乗用車(36B20R程度)のバッテリーでお使いください